



ごみ処理施設のPFI事業としては、全国初の施設『田原リサイクルセンター炭生館』が4月から運転を開始して半年がたちました。この施設では、田原市から排出される生ごみや紙くずなどの可燃性廃棄物（一般廃棄物）を、最新の流動床方式炭化炉で蒸し焼きにして炭化物を作り出します。でき上がった炭は電気炉メーカーへ売却し、燃料などとして有効活用されます。資源循環に貢献する、環境にやさしいごみ処理施設です。

▼清掃管理課 27局0003

炭<sup>たん</sup>

生<sup>せい</sup>

館<sup>かん</sup>

# ごみから炭をつくる最新処理施設 田原リサイクルセンター

## ■炭生館建設の背景と経緯

炭生館の建設計画は、平成12年より旧田原町・赤羽根町・渥美町3町の間で進められてきました。当時、各町にはそれぞれごみ処理施設がありました。施設の老朽化やダイオキシン対策などさまざまな問題があり、3町のごみを一括して処理できる施設の建設の検討が進められる中で、PFI方式の導入が決定されました。

## PFI方式とは

公共施設等の建設・維持管理・運営などを、民間の資金や経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法で、事業コストを削減し、より質の高い公共サービスを提供できるものです。

## ごみ処理のしくみ

